



増刊号（2015年12月5日発行）  
発行：四国手話通訳問題研究会（四通研）

四通研全体の行事を、初の“増刊号”としてお届けします。どうぞご覧ください。

## 四国手話学習会「手話でGO！2015」開催



〔講演会で熱く語る廣瀬芽里氏〕

11月15日、四国手話学習会「手話でGO！2015」が開催されました。

この行事は、四国ろうあ連盟と四国手話通訳問題研究会との合同で、四国四県持ち回りで開催しています。香川・愛媛に続き3回目の今年は高知での開催となりました。会員以外の一般の方にも呼びかけ、午前中は講師を招いての講演会、午後は三つの分科会に分かれて学習します。

講演は、廣瀬芽里氏による「青年海外協力隊での経験～ドミニカ共和国～」でした。

演台に立って話し始めると、ショートカット姿でパワーのある手話表現と、にこやかな表情にすぐ引き込まれました。海外協力隊を目指すきっかけや、訓練の内容・現場での活動内容等、聞こえないからこそできるろうの子ども達への支援に感動しました。ドミニカ共和国に行きたくなりました。

第一分科会は「手話で遊ぼう」、第二分科会は「手話を創ろう」、第三分科会は「手話で学ぼう」です。どの分科会も魅力ある内容で毎年どの分科会に参加しようかと迷います。今回、第一分科会は18名、第二分科会は28名、第三分科会は44名の計90名の参加者でそれぞれ楽しく学習できました。

来年は徳島県で開催されます。各県誘い合って参加しましょうね。



〔左から第一、第二、第三分科会の様子です。〕

\*この機関紙の著作権等知的財産権は四国手話通訳問題研究会及び各支部に所属し、掲載している文章及び画像を無断で再利用することを禁じます。